



はじめよう！  
OTOTron スマートホームケア

はじめに

このたびは、OTotron Smart Home Care（以下、OTotron スマホケア）をお求めいただき、誠にありがとうございます！

これまで、専門の講座を受講し、所定の実技課題をクリアしなければ、適切に扱うことができなかったイーマ・サウンド®。

OTotron スマホケアは、イーマ・サウンド®の素晴らしさはそのままに、誰でも手軽にイーマ・サウンドセラピーの世界をお楽しみいただけるよう、個人向けのヒーリングプログラムとして開発されています。

イーマ・サウンド®を誰でも手軽に扱えるようになった一番の理由は、目的別にプリセットされた音源を新たに開発・収録しているから。

アプリに収録した音源の名前を読むだけで、その音が何に使うものであるか、すぐにその目的を理解できるよう利用者目線で設計を行いました。

サロンで受ける本格的なセラピーには及ばないものの、ご提供する音源は本物のイーマ・サウンド®そのもの。ご自宅でお楽しみ頂くには十分な内容を収録しています。

ここ一番の自信を必要とする場面や、素晴らしい集中力を必要とするとき、内臓のケアや、リラックスタイムにしっかりと身体を休めたいとき…。OTotron スマホケアは、あなたに寄り添い、本来の能力を引き出してくれる頼もしいパートナーとなってくれることでしょう。

あなたの日常がエネルギーに溢れた素敵な時間に生まれ変わるように、OTotron スマホケアを存分にご活用ください！

# 目次

1. 注意事項
2. 付属品一覧
3. OTOTron スピーカーを充電しよう！
4. OTOTron スマホアプリを起動しよう！
5. 「OTOTron スピーカーと接続」を押下する
6. OTOTron スピーカーの電源を入れよう！
7. スマホとスピーカーを Bluetooth 接続する
8. LED 用の電池をセットしましょう！
9. OTOTron スピーカーの使い方
10. OTOTron 音響セラピーをやってみよう！
11. セラピーが終わったら
12. LED 用電池は充電タイプがオススメ！
13. 故障かな？と思ったら

## 1. 注意事項

### ①イーマ・サウンド®音源は絶対にイヤホンで聞かないでください！

アプリに収録されたイーマ・サウンド®音源は、OTOTron スピーカーを使って再生することを前提に設計されています。イヤホンで直接この音源を聞いてはいけません。これは禁止事項です。

### ②運転中の使用は禁止します

イーマ・サウンド®音源は、身体に共振を起こす際α波を出すため、急激な眠気を引き起こすことがあります。このため運転中の使用は厳禁とします。

### ③取り扱いは丁寧に

OTOTron スピーカーは精密機器です。ご購入日より一年間は自然故障に対する保証が付きますが、故意・過失を問わず、落下・水没など物理的な破損は保証の対象とはなりません。取り扱いは丁寧をお願いいたします。

### ③お問い合わせの前に

OTOTron スマホケアの使い方は簡単です。本マニュアルをお読み頂ければ、OTOTron スマホケアの使用方法が理解できるように解説をしています。ぜひ、お問い合わせの前に本書をご一読くださいませ。

### ④電池の入れ間違えに注意！

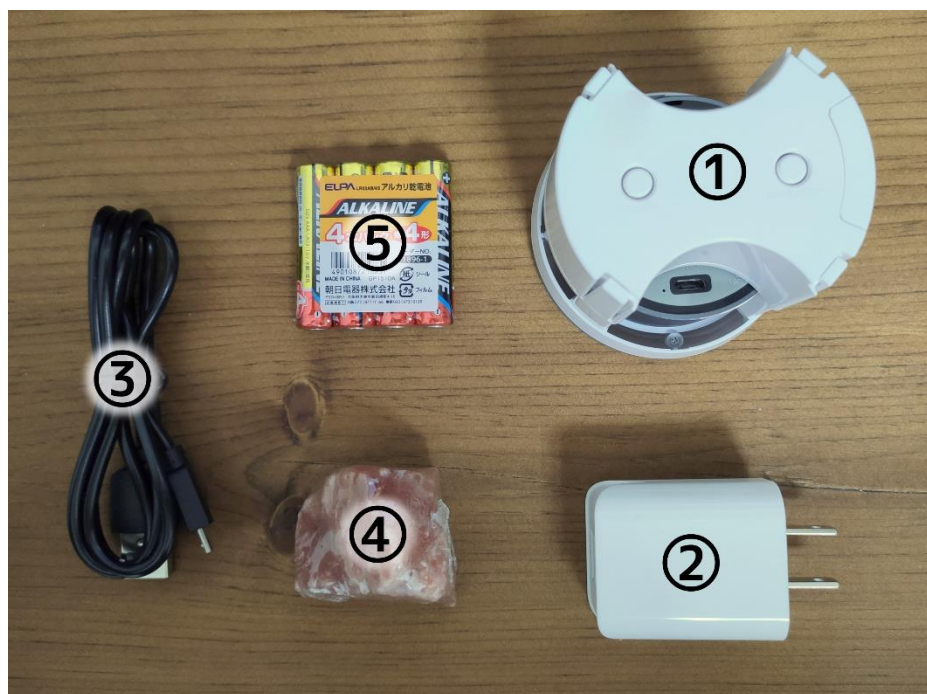
OTOTron スピーカーは、前面に内蔵した LED を点灯させるため、単4 電池を2本使います。プラスとマイナスの向きを誤ると、電子基板を破損する場合がありますので、電池の向きには十分ご注意ください。

### ⑤高温・多湿の場所に放置しないこと

OTOTron スピーカーは、精密機器のため、車のダッシュボードの上など、高温になる場所や、浴室など多湿の場所でのご利用はおやめください。

## 2. 付属品一覧

- ①OTOtron スピーカー：1台
- ②USB 充電アダプタ：1台
- ③Micro-USB 充電ケーブル：1本
- ④ヒマラヤ岩塩：1個
- ⑤アルカリ乾電池4本
- ⑥本マニュアル



※本セットには、音源再生のスマートフォンは含まれません。  
スマートフォンはご自身のものをご用意ください。

### 3. OTOTron スピーカーを充電しよう！

OTOTron スピーカー本体は、お使いいただく前に充電が必要です。

OTOTron スピーカーを机などの平らな場所に置き、USB コネクタの向きに注意して、コネクタをしっかり接続しましょう。機材セットに付属する USB 充電アダプタと、USB ケーブルを使って充電を行ってください。



充電中は、USB 差込口横の LED が赤く点灯し、充電が終わると消灯します。

スピーカーに USB ケーブルを差し込むときは、コネクタの向きに十分ご注意ください。画像のように、必ずスピーカー本体を持って USB ケーブルを差し込むようにお願いします。



※OTOTron スピーカーの USB コネクタには向きがあるので差し込みの際はご注意ください！

## 4. OTOtron スマホアプリを起動しよう！



iOS 版



Android 版

App Store(iOS)または、Google Play(Android)ストアからダウンロードしておいた、OTOtron Smart Home Care アプリを起動し、登録時に設定したIDとパスワードでアプリにログインします。

### ☒ 次回から入力を省略する。

にチェックを入れておくと、次回からIDとパスワードの入力が不要になるのでオススメです！

## 5. 「OTOTron スピーカーと接続」を押下する



iOS 版



Android 版

ログイン後、OTOTron スピーカーと接続（青枠）をタップしましょう。

## 6. OTOtron スピーカーの電源を入れよう！



スピーカーの電源ボタンを長押し



電源 LED の点滅を確認！

次に、スピーカー本体の電源（左画像の黄枠）を 4 秒程度長押しして、OTOtron スピーカー本体の電源を ON しましょう。

電源が入ると、スピーカーから電子音が鳴って、スピーカー本体の電源 LED が赤と青で交互に点滅（右画像）します。

初めて OTOtron スピーカーとスマートフォンを接続する場合は、次ページ以降をご参照ください。

## 7. スマホとスピーカーを Bluetooth 接続する

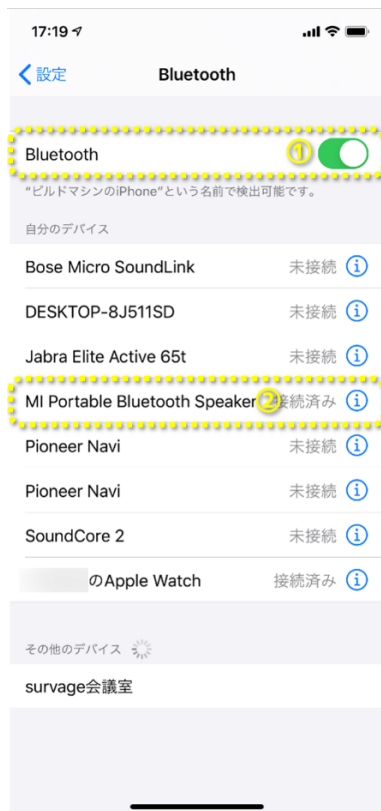
### 7-1. iOS の場合①（初回接続時）



iOS (iPhone) の場合、“OTOTron スピーカーと接続する” を押下すると、毎回、左上画像のメッセージが表示されます。

OK ボタンを押してメッセージを消去し、メッセージの内容に従って、一度ホーム画面に戻ってから、“設定” をタップしましょう。

## 7-2. iOS の場合②（初回接続時）



設定を開いたら、Bluetooth（左画像の黄枠）をタップしましょう。

Bluetooth が OFF の場合は ON に（右画像①）変更し、

**「MI Portable Bluetooth Speaker」**という名前をリストから探して  
タップをします（右画像②）。

スピーカーから電子音になり、OTOTron スピーカーとスマートフォン  
がペアリング（接続状態）されます。

右画像②のように、“接続済み” となるのを確認しましょう！

★iOS 端末の場合、2 回目以降の接続は、“設定”アプリを開かなくても  
自動でペアリングされます。

### 7-3. Android の場合



Android スマートフォンの場合は、“OTotron スピーカーと接続”を押下し、OTotron スピーカーの電源も ON にしてしばらくすると、Bluetooth がオフだった場合、まず Bluetooth を ON にして良いかの確認メッセージが表示されます（左画像）

次に、右画像のようにペアリング確認のメッセージが表示されます。

メッセージの内容に従って、Bluetooth を ON に設定したのち、MI Portable Bluetooth Speaker とペアリングをおこなってください。

※スマートフォンの端末により、ペアリング確認のメッセージ内容は多少変わります。

#### 7-4. OTOTron スピーカーとペアリングが完了した状態



iOS 版



Android 版

OTOTron スピーカーとペアリングが完了した後、iOS 版と Android 版の画面は上画像のように若干異なります。

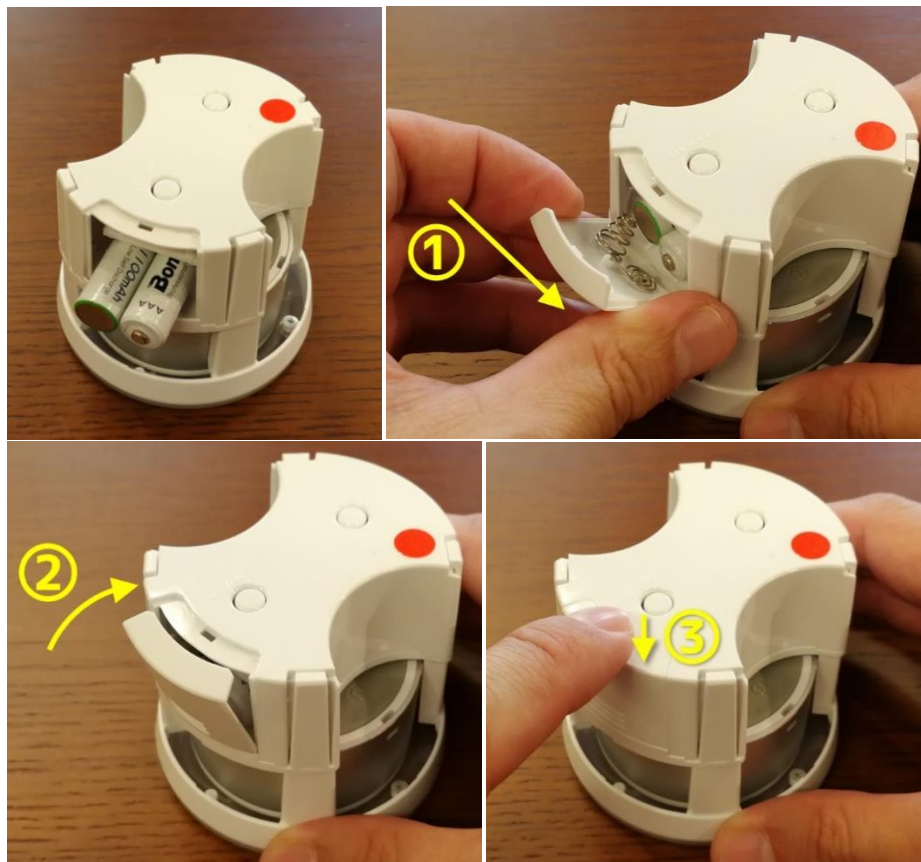
iOS (iPhone) 端末は、Bluetooth で OTOTron スピーカーと接続されていることを認識できないため、ログイン後の左上画像の状態となります。Android 版はペアリングが完了すると、ボタンがオレンジ色に変わります。

次に、“イーマ・サウンドを再生する” を押下しましょう！

## 8. LED 用の電池をセットしましょう！

では、早速使ってみよう！…の前に、もう一つ大切な設定があります！

それは、OTotron スピーカーに LED 点灯用の電池をセットすることです。



画像を参考に、単4 電池を 2 本カバー内にセットしてください。

電池の+と-を間違えないよう、十分にご注意ください。

電池フタは図①のように一旦斜めにフタ差し込みます。電池バネが電池のマイナス側に当たっていることを確認（図②）しながら閉じる（図③）ようにしましょう！

## 9. OTOTron スピーカーの使い方

OTOTron スピーカーの基本的な使い方についてご説明いたします。



OTOTron スピーカーは、上面に2つのボタンが付いています。

### 9-1. PWR/PTN (パワー/パターン) ボタン

電池フタを向かって右側にした時、右ボタンには小さく PWR/PTN と刻印されているのが見えると思います。



PWR/PTN ボタン 1 回押すと、LED が全点灯します。

PWR/PTN を押下することにより、**全点灯→時計回り→反時計回り→消灯** の順序でローテーションします。

OTOtron スマホケアでは、

**LED が時計回りで回転するモードにセットをしてください。**

**※時計回りとは、LED を正面から見た時に時計回りということです。**

## 9-2. COLOR (カラー) ボタン

左側のボタン (COLOR) は、色の切り替えを行うためのカラーボタンです。



LED の点灯中に、COLOR ボタンを押下するたび、色が切り替わります。

**白色 → 紫色 → 紺色 → 青色 → 緑色 → 黄色 → 橙色 → 赤色**

の順に変化します。OTOtron スマホケアでは下の画像の通り

**紺色または、緑色の時計回りに LED 色をセット**して下さい。



## ★ポイント

OTOtron スマホケアは、③紺色か、⑤緑色が基本カラーとなります。

仰向けで鎖骨の間に置く場合は③紺色。おへその上に置くときは⑤緑色です。また、うつ伏せの状態で首の付根にスピーカー置く場合は③紺色。尾骨の上に置くときは、⑤緑色を使ってください。

LED のカラー、回転モードにはそれぞれ身体に共振する意味がありますので、他の点灯モード、色はお使いにならないようにお願いします。

## 10. OTOtron 音響セラピーをやってみよう！



OTOtron スピーカーとの接続後、“イーマ・サウンドを再生する” を押下すると、上図のような画面になっていると思います。ここからは実際のセラピー手順について解説します。

## 10-1. アプリ画面の見方

以下、iOS 端末の画像を例に解説しますが、基本的な操作方法は、Android 端末でも同じです。



上図を参考に、①再生したい音源をチェックし、③画面下の再生ボタン▶をタップして、イーマ・サウンドを再生します。

各音源についての解説を読みたい場合は、①のボタンを押下（②）しましょう。

セラピーを行う時間の長さは、特に決まりはありません。  
ご自身でお好きなだけムリの無い範囲でおこなってみてください。

## 10-2. スピーカーの置き方①：鎖骨の間に置く。



セットに同梱されているヒマラヤ岩塩を鎖骨の間に置き、スピーカーは、イラストのように紺色に LED を正面から見た時に時計回りになるようセットした状態で、鎖骨の中心のやや下（岩塩のすぐ下）に置いて下さい。

これがもっともスタンダードな使い方です。

私たちの首周りには背骨や脊髄、太い神経や、食道、リンパ液など、身体にとって重要な組織が数多く存在しています。

この部分のエネルギーバランスが乱れると、【何となく調子が悪い】と、私たちは感じてしまいます。最初のうちは、この鎖骨のあたりにスピーカーを置いて、身体の変化を感じてみましょう。

イラストでは、仰向けの姿勢で使っていますが、座ったままでも構いません。その場合は、右手（または左手）でスピーカーを持ち、LED 面を鎖骨の中心に当てて使うようにします。

### 10-3. スピーカーの載せ方②：おへその上に置く。



もう1つの置き方は、おへその上にスピーカーを置く方法です。  
LED は緑色かつ、LED を正面から見た時に時計回りにセットした状態で身体に置きます。この場合もヒマラヤ岩塩は鎖骨の間に置きます。

おへそは身体の中心にあり、小腸や大腸、腎臓など多くの臓器がこの近くに存在しています。ここへ OTOtron スピーカーを置くことでイーマ・サウンドの共振音が内臓と全身へと広がって行きます。

座った状態で使う場合は、右手（または左手）にスピーカーを持った状態で、おへその上に LED 面を当てて使うようにしましょう。

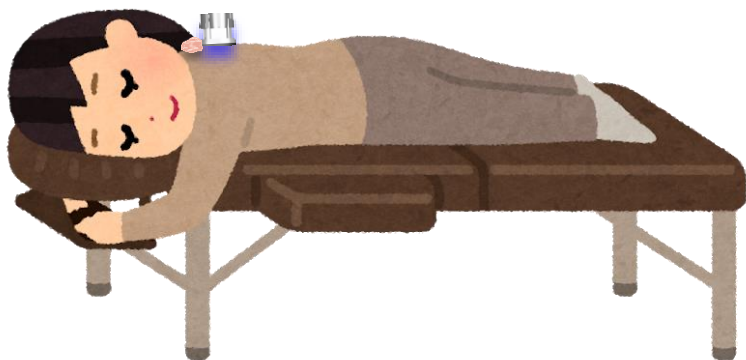
#### ★アドバイス：セラピー後は水分補給を



イーマ・サウンド®セラピーを行うと、音響振動の作用によって、身体が徐々に変化します。

その際、身体には水分が必要となりますので、マメな水分補給を行うのがオススメです！

#### 10-4. スピーカーの載せ方③：うつ伏せで使う場合



うつ伏せでお使いいただく場合、頸椎の 7 番（首の付け根）の上に岩塩を置き、そのすぐ下にスピーカーを置きます。LED は紺色＋時計回りです。



もう一つのパターンは、岩塩は頸椎 7 番の上で、スピーカーを仙骨の上に置いて使う方法です。LED は緑色＋時計回りで使います。

#### 10-5. スピーカーの載せ方④：その他の場所へ置く

基本的な場所は、あお向けの場合、鎖骨の中心すぐ下か、おへその上あたりです。うつ伏せの場合は、首の付け根と、尾骨の上という解説をしました。それ以外の場所では、ご自身の身体で気になる部位、音を当てて身体が心地よいと感じる部分へスピーカーを当ててみて下さい。その場合 LED カラーは緑色をお使いください。

## 10-6. OTOTron 音響セラピーをする時のポイント

**OTOTron 音響セラピーを行う時は、できるだけ頭の中を空っぽにして、音に全てを委ねてしまうのが重要なポイントとなります。**

OTOTron スマホケアの音源であるイーマ・サウンド®は、エネルギー調整を行う音源であり、病気治しではありません。効果を期待したり、音響セラピーで自分の不調を治そう！…などと頭で考えないようにしてください。頭の中に仕事のストレスや、色々な考えが巡っても、セラピー中はその考えを追いかけるのを止め、音響の振動に身を任せてください。

## 10-7. ヒマラヤ岩塩を使った「岩塩体爽」



セットに付属するヒマラヤ岩塩は、施術時にスピーカーと共に使いますが、ヒマラヤ岩塩単体でも「岩塩体爽」として使うことができます。イラストを参考に鎖骨の間（自律神経のツボ）に岩塩を当てながら、30 秒程度、肩を上下させたり、回したり、首を前後左右に傾けたり、首をゆっくり回すようにして体操をするのがオススメです！

この「岩塩体爽」は、自律神経の調整に役立ちます。メンタルが安定し、決断力や判断力を正常化へと導きます。

## 11. セラピーが終わったら

セラピーが終わったあとは、次の3つを忘れずにお願いします。

- 1. アプリを終了させる。**
- 2. スピーカー本体の電源ボタンを長押しして電源を切る。**
- 3. LED 用の電池を外して保管する。**

### 【重要】

LED 用の電池は、LED を消灯していても内部のマイコンチップが常に動作しているため、電池を入れっぱなしにしておくと電池を消耗します。使用後は必ず電池を抜いて保管をお願いします。

## 12. LED 用の電池は充電タイプを！



LED 点灯用に使う電池は、充電して繰り返し使えるニッケル水素充電電池を別途ご用意頂くのがオススメです。写真画像にあるような、単4型充電電池で、電池容量が 1000mAh（1000 ミリアンペア）以上のものを別途ご用意いただくと良いでしょう。

写真に掲載した EBL の電池は Biolux でも推奨している電池の1つです。1000 回程度繰り返し使用することができ、充電した時の電気代も 1 回 1 円も掛からないため、大変経済的です。

### 13. 故障かな？と思ったら

OTOtron スピーカーは、購入から一年間の保証が付きます。

本マニュアルが保証書を兼ねておりますので、大切に保管をお願いします。  
故意・過失による故障は、修理期間によらずすべて有償での修理対応となりますので、ご了承ください。

#### 修理に関するお問い合わせ

Biolux 事務局 TEL：03-6625-4393 Mail：[support@biolux.jp](mailto:support@biolux.jp)

#### 検査・修理の受付

Biolux 修理センター：東京都世田谷区奥沢 5-27-5

|                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ご購入日                                                                                                                                                                                        | 年          月          日                                                                                          |
| お名前                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                  |
| ご住所                                                                                                                                                                                         | <br>TEL (          )          - |
| 製造元                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                  |
| Biolux 株式会社<br> 104-0052 東京都中央区月島 3-24-5 月島 NR 6F<br><a href="https://biolux.jp/">https://biolux.jp/</a> |                                                                                                                  |
| 販売店印欄                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                  |
|                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                  |